桃李（とうり）の里

福島市立中野小学校

学校だより

発行：校長　益子　朗

資源回収・書籍回収お世話になります

親子BBQ（バーベキュー）楽しみましょう！

あさって（11／15（日））は、PTA資源回収・本の回収です。ご家庭で不要になった本、雑誌、新聞紙、段ボール、アルミ缶、銀紙、牛乳パックなどを、ご協力いただきますようお願いいたします。

本の回収では、児童用の本に限らず、絵本、図鑑、童話、ノンフィクション、小学生の読書に適していると思われる書物であれば、ご家庭で不要になった本を持ってきていただいて結構です。

備考

1　本の種類は問いません。

2　回収の際、寄贈カードに書籍名などを記入（カードに書けない場合は図書室に置くことにします）していただきますようお願いします。

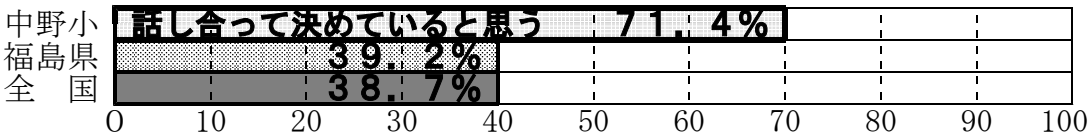
○　寄贈者・回収冊数の点検・集計のため、ご協力ください。

○　図書室に置くことにするかお返しするかの結果、寄贈者名などを記入（カードに書けない場合は図書室に置くことにします）していただきますようお願いします。

○　回収した本、雑誌、新聞紙、段ボール、アルミ缶、銀紙、牛乳パックなどを、ご家庭で不要になった本を持ってきていただいて結構です。

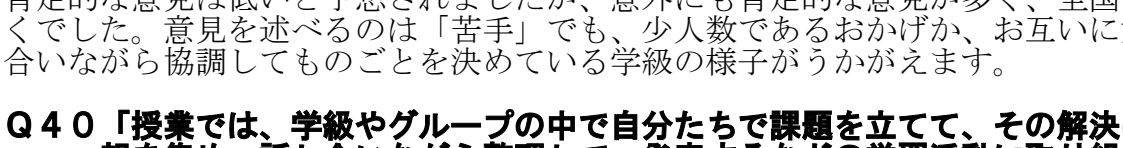
全国学力学習状況調査・児童質問紙より（７）

Ｑ２５「あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級の決まりなどいると思いますか」



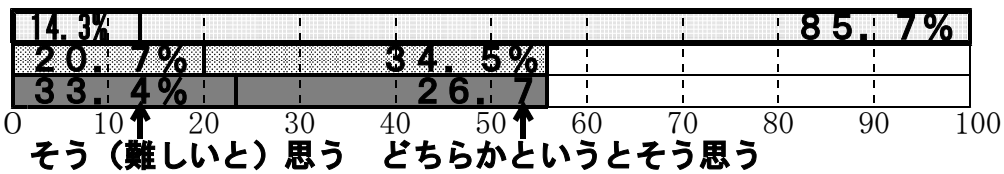
Ｑ７で「友達の前で考えや意見を発表するのが苦手だ」と答えていたので、この項目も肯定的な意見は低いと予想されましたが、意外にも肯定的な意見が多く、全国や県の倍近くでした。意見を述べるのは「苦手」でも、少人数であるおかげか、お互いに意見を出し合いながら協調してものごとを決めている学級の様子がうかがえます。

Ｑ４０「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」



学力テストからもこのアンケートの他の質問項目からも、話し合いがやや苦手という傾向が顕著ですが、こうした話し合いを中心とした学習活動をやってきたという意識は高いので、ではなぜ苦手なのか、さらに分析する必要があるようです。

Ｑ４５「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか」



全国や県でも「説明したり文章に書いたりするのが苦手」という児童が約６割に達しますが、本校は全員が苦手・やや苦手だと答えています。言語活動を強化し、「話す」「聞く」「書く」学習活動を根気よく続けさせなければなりません。と同時に、日頃の授業の様子を見ると、決して彼らが思っているほど説明や文章が不得手ではなく、実力があるのにそれに見合った自信が持てない状態だと思いますので、適切なタイミングに適切な評価を与えて自信を付けさせるよう工夫していきたいと思います。